キク編

病害虫注意報 2025年6月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

土壌病害

---予防と対策---

高温に伴い、各種病原菌による土壌病害が発生しやすくなります！
〈対策例〉 ①適正な水管理を行う　②遮光剤等による高温対策
③活着促進資材を使用　④予防薬剤を使用する
萎れ症状等で根傷みの兆候がある場合は早急に酸素剤の使用など、根の回復に努めましょう！

FRAC	対象病害・使用目的	薬剤名	希釈倍数・使用量	処理方法
14	立枯病	**リゾレックス水和剤※**	500～1,000倍　3L/m²	土壌灌注(生育期/5回)
4,11	立枯病 (ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌)	**ユニフォーム粒剤※**	18kg/10a	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
32	発根促進	**タチガレン液剤**	1,000倍 5～10L/㎡	土壌灌注(挿し芽直後/1回)

※花き類・観葉植物登録

立枯病にはこれ！おすすめです！

ユニフォーム粒剤

FRAC：11,4
定植前：9～18kg/10a
全面土壌混和
（白さび病同時防除）

特長
▶定植前（白さび病登録）、定植時・生育期（立枯病登録）
→**どのステージでも使用可能！**
▶**2種類の有効成分**(アゾキシストロビン・メタラキシルM)で立枯病【リゾクトニア属菌】を予防

今月のおすすめローテーション

品種、栽培条件、混用する農薬・資材によって薬害が発生する可能性はあります。ご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫		薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予	inochioキクッチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予	アントラコール顆粒水和剤	1,000～2,000倍	発病前～発病初期	6回
	23	ｱｻﾞﾐｳﾏ類・ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ﾊﾀﾞﾆ類		inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病・褐斑病・黒斑病	予・治	メジャーフロアブル	2,000倍	発病初期	3回
	13	ﾐｶﾝｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ・ﾊﾀﾞﾆ類 ﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ・ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ等		コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	21A,39	白さび病・ｱｻﾞﾐｳﾏ類 ｱﾌﾞﾗﾑｼ類・ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	予	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生初期	4回
	30	ｱｻﾞﾐｳﾏ類・ﾊﾀﾞﾆ類 ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ		グレーシア乳剤	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	予・治	アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	5	ｱｻﾞﾐｳﾏ類・ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類 ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ・ｲﾗｸｻｷﾞﾝｳﾜﾊﾞ		ディアナSC※	2,500～5,000倍	発生初期	2回

※花き類・観葉植物(りんどうを除く)登録

フーモン

有効成分が害虫をすばやく窒息死させます！
気門封鎖剤を利用して
他剤の使用回数を抑えましょう！

ﾊﾀﾞﾆ類　1,000倍
収穫前日　回数制限なし

※高温時の使用注意
※混用不可薬剤あり

海藻サンバ

1,000倍：挿し穂浸漬処理、または葉面散布
➤コリンによる**光合成促進**と**発根促進**
➤海藻エキスによる**発根促進**
➤転流を促進

肥料登録番号
生第101491号